資料１

水都大阪の取組みについて

～「持続的な成長」をめざして～

2025年１月

水都大阪コンソーシアム（SOC）

資料１

第16回水と光のまちづくり推進会議
2025年1月31日

水都大阪ビジョン（第12回水と光のまちづくり推進会議にて報告済）

■水都大阪のめざすもの（水都大阪ビジョン）

世界に類をみない第一級の水都の創造とともに、住まう人・携わる人・訪れる人を笑顔に

- 歴史と文化に培われた水都大阪を次世代につなぐ
- 世界の多くの人が水都といえば大阪を思い起こす魅力あるにぎわい空間の創出
- 安全・安心で環境と共生する持続可能な水都大阪の確立

■これまでの歩み

2001～2016年度	2017～2020年度	**2021年度～**
第1フェーズ【再生】	第2フェーズ【成長】	**第3フェーズ【持続的な成長】**

■水都大阪がめざすべき成長目標（概ね2025年度までを目途）

～　新型コロナの影響による水辺のにぎわいの落ち込みを踏まえて　～

規制緩和の積極的活用とともに、エリア毎の特色を活かした魅力づくりによって、
水の回廊全体のさらなる活性化を推進する

交通の利便性向上や、安全・安心で環境と共生する「持続可能な水都大阪」の実現などによって、
水辺におけるライフスタイルの定着をめざす

水の回廊と今後の開発や整備が期待されるベイエリアや淀川をつなぐことで、
水都大阪の広がりを図る

『水都大阪ビジョン＜アクションプラン＞』より

資料１

第16回水と光のまちづくり推進会議
2025年1月31日

2024年度の主な実績（１）

①万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出

②水都大阪のファンづくりとブランディングのさらなる強化

●水辺のにぎわいや、船が行き交う風景を四季を通じて創出

・春の水都大阪ウイーク「八軒家浜水辺の憩いの広場・南天満公園水辺のさくら回廊」、「Sound of Rose Garden」（2024年3～5月）

八軒家浜水辺の憩いの広場、南天満公園水辺のさくら回廊　【約77,200名来場】

大川さくらクルーズ「小学生無料乗船企画」の支援　【約26,600名乗船】

サウンドオブローズガーデン　【約9,300名来場、約200名乗船】

大川さくらクルーズ

八軒家浜水辺の憩いの広場

サウンドオブローズガーデン

バラクルーズ

・夏の水都大阪ウイーク「涼み舟2024」（7～8月）

水上の風鈴めぐり（天満橋・中之島ガーデンブリッジ・渡辺橋・道頓堀橋・本町橋・東横堀川水門）

水都大阪かるためぐり（大川、堂島川、土佐堀川、東横堀川の各所）

大川かっぱ酒場（八軒家浜船着場に期間限定で開設。ナイトクルーズも実施）　【337名来店、19便 57名クルーズ乗船】

水上の風鈴めぐり

水都大阪かるためぐり

大川かっぱ酒場

かっぱクルーズ

2024年度の主な実績（２）

・秋の水都大阪ウイーク「水の都パビリオン」（10月）　【中之島公園と八軒家浜の2会場で約12,500名来場】

気候の良い10月の3連休に、中之島公園、八軒家浜を会場に水の都、食の都大阪を水辺で満喫するイベントを開催。

２会場間を結ぶ周遊クルーズを運航。　【108便運航、714名乗船】

八軒家浜において、川の駅はちけんやを活用して水都大阪にちなんだ古典芸能やかるた大会を実施。

※大阪来てな！キャンペーン「中之島RIVER LIVE」と連携

中之島公園会場

連携事業　大阪来てな！キャンペーン「中之島RIVER LIVE」

八軒家浜会場

2会場を結ぶ周遊クルーズ

・冬の水都大阪ウイーク「中之島EAST　水辺の散歩道」（11～12月）

大阪・光の饗宴エリアプログラムとして2回目の開催。チューブライト延長、橋梁下ライトアップ、樹木イルミネーションを新規追加。

・水上ミニ花火の効果的な活用（計５回）

舟運の定期的な賑わい創出のため、天満橋付近での水上ミニ花火

天神橋TORCH

水辺の散歩道

天満橋水上ミニ花火

資料１

第16回水と光のまちづくり推進会議
2025年1月31日

2024年度の主な実績（３）

●民間ビジネスの創出

・万博会場（夢洲）周辺と市内中心部を結ぶクルーズ観光の社会実験（10月）※万博開幕６ヵ月前
観光庁補助金を得て、2025年日本国際博覧会協会等と連携の上、実施。【約480名参加】

●水都大阪のブランディングの発信・強化

・SNS実績：603回発信(前年比170.8%)、約15,600名フォロー(同105.9%)、
TV等マスコミ掲出数：24件（12月末時点）
・ツーリズムエキスポジャパンへの出展（東京ビッグサイト）（9月）※大阪観光局等と合同出展
・外国人留学生エキスポへの出展（エディオンアリーナ大阪）（10月）
・大学生や高校生による「水都大阪」の魅力発見・発信プロジェクト「水都大阪アカデミア」の実施
・ホームページやクルーズマップ（４か国語）のリニューアル
・【新規】中国、台湾・香港のSNSへの情報掲載
・【新規】メディアクルーズの実施（10月、12月）
・【新規】メルマガの発行（10月から月2回　580件）

万博航路を想定した社会実験

水辺のイノベーション・フォーラム

③万博、さらにその先を見据えた水辺のステークホルダーとの連携強化

・船着場案内板等表示事業
・スマート水都勉強会「水辺のイノベーション・フォーラム」の開催（11月）
・水辺を語る会の実施（９月）
・淀川舟運活性化協議会への参画等淀川やベイエリアとの連携

ツーリズムエキスポジャパン

外国人留学生エキスポ

ホームページ・リニューアル

クルーズマップ・リニューアル

資料１

第16回水と光のまちづくり推進会議
2025年1月31日

2025年度事業の方向性

■当面の課題

- 2025年大阪・関西万博開催年にあたり、国内外の利用客に対し、社会実験を踏まえニーズにあわせた観光船の定期的な運航の拡充など十分な乗船機会の確保
- 万博期間中の来阪者に対して、様々な方法で水都大阪の魅力を効果的に伝えるとともに、地域住民のシビックプライドの醸成
- 多様な企業・団体等との連携を通じて、水辺のにぎわいや活性化に関する取組みの拡大

■来年度事業の方向性

2025年大阪・関西万博開催にあたり、これまで培ってきた水辺の魅力向上の取組みを国内外の方々に存分に体感していただく

- 万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出
  （観光船の定期的な運航の拡充・クルーズ商品開発の支援など）
- 水都大阪のブランディングの確立と情報発信のさらなる強化
  （万博や大阪府市重点事業等との連携、インバウンドへリーチする情報発信の強化など）
- 万博会期中はもとより終了後も、水辺活性化と新しい担い手の確保
  （水辺拠点施設等との連携強化など）

資料１

水都大阪ビジョンの改定について

水都大阪ビジョンの改定について

水都大阪ビジョンの改定 【要約版】

資料１

第16回水と光のまちづくり推進会議
2025年1月31日

■ 水都大阪ビジョン（2021-2025年度）

【ビジョン】世界に類をみない第一級の水都の創造とともに、住まう人・携わる人・訪れる人を笑顔に

- 歴史と文化に培われた水都大阪を次世代につなぐ
- 世界の多くの人が水都といえば大阪を思い起こす魅力あるにぎわい空間の創出
- 安全・安心で環境と共生する持続可能な水都大阪の確立

■ 水都大阪ビジョンにもとづく取組み成果と課題

基本コンセプト	取組み・成果	課題と今後の方向性
① 水辺・水上観光メニューの拡大	○ 四季を通じた水都大阪ウイークの定着 ○ 大阪府市、水辺周辺エリアとのより一層の事業連携	○ 八軒家浜・中之島東部のにぎわい創出は発展してきた。東西軸などのさらなる活性化に向けて取組みを充実させていく。
② 舟運のさらなる活性化を推進 （水の回廊を中心に）	○ 舟運利用者数の増加（コロナ前の１割増） ○ 民間クルーズ商品の充実に寄与（水上花火、ライトアップなど）	○ コロナ禍を経て増加する舟運利用者ニーズにこたえるため、今後も舟から見える景観等の魅力創出の拡充を図っていく。
③ 安全・安心な水都大阪	○ 河川水上航行ルールの改定に連携・協力	○ 引き続き、「河川水上交通の安全と振興」に向けて、各関係者と連携しながら、水都大阪の安全・安心づくりに取り組んでいく。
④ 民間ビジネスの創出	○ 社会実験（万博航路、東横堀川の地先利用など）の実施 ○ 水辺関係者の交流促進（スマート水都勉強会など）	○ 水辺関係者の交流促進を図り、関係者間のマッチング機能の充実や、魅力創出に向けたにぎわい事業の創出を支援していく。
⑤ ブランディングの強化	○ HP・SNS、メルマガ配信など多様な媒体を活用したPR広報 ○ 多言語対応したマップやリーフレットの作成・配布	○ SNSや各メディアの特性を活かしながら、さらにPRに取り組む。 ○ 訪日外国人はもとより、地域の方々へもより一層、日常的に利用しやすい情報発信を強化していく。

■ 水都大阪ビジョンの改定に向けて

水都大阪ビジョン（2021-2025年度）の取組成果を着実に次代に引き継ぎ、さらに充実していく

現行の水都大阪ビジョンの改定へ（2030年度まで）